

《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：9月9日（月） 午前10時から（会 場：入谷区民館）

◇鶯谷駅北口のバリアフリー化について

質問	回答	対応
<p>現在、鶯谷駅北口はバリアフリー化がされていません。</p> <p>最近ではマンションが多く建ち、鶯谷駅北口を利用する方も今後増えてくると思いますので、せめてエスカレーターだけでも設置していただけるよう、区からJRに要望をしていただけないでしょうか。</p> <p>また、北口は無人化になってしまいましたので、それもあわせてJRに要望していただきたいです。</p>	<p>私も鶯谷駅北口のバリアフリー化は必要だと思っており、これまでもJRに対して要望をしていますが、バリアフリー化にあたっての技術的な課題があるということも聞いています。</p> <p>鶯谷駅北口周辺は「書道博物館」や「子規庵」などの歴史ある文化資源を持つ地域でもありますので、駅利用者の利便性の向上や地域の活性化という視点で考えても、北口のバリアフリー化は必要であると考えています。</p> <p>北口のバリアフリー化と人員配置については、早く実現できるよう、引き続きJRに要望してまいります。</p> <p>※町会の要望内容と区の回答状況についてJRと共有し、検討を申し入れました。（計画調整課）</p>	<p>●</p>

◇こども110番について

質問	回答	対応
<p>「こども110番」は良い制度だと思っています。しかし、ステッカーが古くなっていたり、分かりづらいところに貼られていたりするので、子供たちがすぐに気付くところに貼っておく必要があると思います。</p> <p>そこで、ステッカーを台東区独自のものを作るなどして分かりやすくしたり、町会等にも積極的に声をかけるなどして「こども110番」制度に協力していただけの方を更に増やしたほうが良いと思います。ステッカーが貼られている場所が増えることで子供たちは安心できると思います。また、目立つところに貼ることで、協力する方たちも子供たちを守るということを認識できたり、加害者への抑止力にもなると思います。</p>	<p>町会や商店など、地域の方でご協力をいただいている方には、「こども110番」のステッカーを貼っていただいています。</p> <p>ステッカーを目立つところに貼ることによって、子供たちが緊急時に避難できる場所が分かったり、加害者への抑止力にもつながってくると思います。</p> <p>また、子供たちには「こども110番」のマップを配布し、緊急時の避難場所の確認や安全教育等を行っていますが、さらに徹底していくよう担当に伝えます。</p> <p>子供たちの安全・安心を守るためには、区と教育委員会と地域が一体となって見守っていくことが大事ですので、ご協力をお願いします。</p>	—

◇A I について

質問	回答	対応
<p>「A I（人工知能）」等の登場により、高度な情報化社会に対応するべく、来年度から小学校に「プログラミング教育」が導入されますが、台東区では今後どのように取り組んでいくのでしょうか。</p>	<p>近年は情報技術が急速に進展しており、令和2年度から小学校で「プログラミング教育」が導入されます。</p> <p>金竜小学校が「東京都プログラミング教育推進校」に指定され、昨年度より企業と連携してプログラミング教育の実践授業や研究を進めています。また、小学校2校と中学校1校をICTモデル校として指定し、タブレット型パソコン等を活用した授業などにも取り組んでいます。</p> <p>台東区もこうした研究の成果などを踏まえて、今後、ICT教育環境の全校整備を見据えながら、ご提案のプログラミング教育を含むICT教育の推進を図ってまいります。</p>	—

◇有事における共助のあり方について

質問	回答	対応
<p>最近の自然災害においては、避難場所まで辿り着けなかったり、病院へ行っても治療が受けられないというような状況があり、自らの命は自らで守ると言われています。また、住民の高齢化が進み、まちの文化・伝統を町会で維持することは難しくなっています。</p> <p>そこで、区内の大きな団体や商工会議所、区町連等が点や線、面で役割を担っていますが、行政が指導的立場となり、これらの団体の役割を確認し、その隙間を埋めるための体制として、「地域包括助け合いシステムづくり」を提案いたします。</p>	<p>災害発生時に自ら避難することが困難な方の見守りについては、町会等にもご協力をいただきながら、高齢者の「見守りネットワーク」等を行っています。また、昨年、地域包括ケアシステムを構築するための推進協議会が立ち上がり、医療系の団体を中心となって、地域を繋げていくというシステム作りに様々な機関と連携しながら取り組んでいます。医療団体には非常に熱心に取り組んでいただいていますので、良い形のシステムが構築されていき、これをどう活かしていくかなど、地域の皆さまと様々な連携を図ることが大事だと思います。</p> <p>良いご提案だと思いますので参考にさせていただきます、引き続き推進してまいります。</p>	<p>—</p>

◇自立支援センター台東寮閉鎖後の建物活用について

質問	回答	対応
<p>平成25年6月、東京都と台東区より、当町会内に自立支援センターを設置したいと話がありましたが、当町会では入所者の把握ができず不安という理由から、支援センターの設置については反対でした。数か月後、支援センターは5年間使用後に取り壊し、町会の為に使うという話にまとまったため、町会使用の際の要望書を作成し、東京都と台東区へ提出しました。しかし、いつまでたっても要望書の進展はなく、このままでは支援センターの移転とともに話が決着点を見ないままになってしまいそうで心配です。</p> <p>ぜひ、防災施設とコミュニケーション広場として活用させていただけないでしょうか。</p>	<p>これまでも、自立支援センターの移転については、地域の皆さまと協議を重ねてまいりました。</p> <p>開設期間終了後の活用については、東京都や区に対してお話しをいただいていますので、地域の皆さまの想いは十分に認識しています。</p> <p>地域の皆さまのご意向を踏まえ、引き続き東京都と協議を進め、開設期間終了後の施設の活用について検討を行ってまいります。</p>	<p>☆</p>

◇旧坂本小学校の跡地利用について

質問	回答	対応
<p>現時点における旧坂本小学校の跡地利用計画の詳細や、建物・校舎の解体から施設の完成までのスケジュールについて教えていただけないでしょうか。</p> <p>また、その計画内容のなかでは、地元町会や学校利用団体が今まで通り利用できるのか、それともどこかへ移転しなければいけないか、その点などはどうなっているのか、教えてください。</p>	<p>坂本小学校は、大正小学校との統合により平成8年に閉校となり、閉校後は東京都への貸し付けを行うなど、暫定活用を図ってまいりました。</p> <p>現在は、東京藝術大学大学院映像研究科の移転を視野に入れ、協議を進めています。</p> <p>引き続き東京藝術大学と協議を進め、整備する公共施設については、要望を含めて早期に具体化を図ってまいります。</p>	☆

◇入谷地区再開発について

質問	回答	対応
<p>旧坂本小学校跡地の開発が俎上に上がって数年間が経過しており、上野忍岡高校跡地についても本年中に下谷警察署仮庁舎が移転しますが、入谷地区の活性化のための具体的な実態はまだ把握ができていません。</p> <p>そこで、入谷地区再開発にあたって、民間活力を利用するのか、将来に亘り区で必要な施設はどのようなものがあるのか、地域で要望している中規模ホールやスポーツ施設等は検討課題にしていただけなのか等について、区の方針を教えてください。また、華学園の定期借地権の終了と同時に区の財産として使えるようお願いできないでしょうか。</p> <p>今後の入谷地区を中心とした開発についての行程表を、少しずつでも良いので示していただけないでしょうか。</p>	<p>平成31年3月に策定した「台東区都市計画マスタープラン」では、根岸・入谷地区の将来像を「歴史・文化の風情や利便性を享受し個性豊かに暮らせるまち」と掲げています。</p> <p>旧坂本小学校跡地の活用による地域拠点の形成を含め、今後も、地域の皆さまと協議を重ねながら、入谷地区のまちづくりを進めてまいります。</p>	—